

課題名：ナシ園の樹勢強化と早期成園化技術の導入による 改植の推進

ねらい

ナシの主力品種「幸水」「豊水」の老木化による樹勢の低下に加え、夏秋季の高温干ばつ、冬期の温暖化などにより、ナシの生産量は減少しています。

また、萎縮病やヒメボクトウなどの枝幹病害虫による被害が多く、被害樹の改植を推進してきましたが、補植程度で本格的な改植には至っていません。

秋冬季の土壌水分管理、深耕等の土壌改良による樹勢強化技術とともに早期成園化技術を用いた改植を推進・普及させることでナシ産地の生産安定を図ります。

活動地域・対象

JA松茂、JA徳島北、JA板野郡、JA大津のナシ栽培農家248戸

普及活動の目標

- 樹勢強化技術の実施農家数（深耕、有機物マルチ、灌水励行）10戸
- 早期成園化技術（大苗育苗等）の実施農家数 3戸
- 経営計画による改植指導農家 2戸

目標に向けた活動概要

- 樹勢強化技術の推進
 - 実証圃 4カ所
 - 現地調査 4カ所
- 早期成園化技術の推進（大苗育苗等）
 - 講習会、研修会 5回
- 経営計画による改植推進
 - 農家相談 1戸



樹勢強化のための果樹白紋羽病温水治療機の実演会

普及活動の成果

- ・ 樹勢強化技術実施農家数 10戸/10戸 達成度100%
- ・ 早期成園化技術実施農家数 27戸/3戸 達成度900%
- ・ 経営計画による改植推進 1戸/2戸 達成度50%



不織布ポット大苗育苗技術
(農産園芸研究課協力)



ナシ大苗による改植状況

用語
説明

今後の発展方向

- ・ 樹勢強化、早期成園化、改植推進も継続して取り組みます。
- ・ 今年度、国補改植事業（果樹経営安定対策）の実施事例が、当地区で初めて農家1戸約20aできたことから、今後も本事業を積極的に活用して改植を推進して行きます。

関係者からの声

- ・ 樹勢強化技術については一部に深耕等の実践農家もでき、実践農家については、豊水の発芽不良が減少したとの評価を受けています。
- ・ 板野郡の農家から粘質土壌での白紋羽病温水治療を検討してほしいとの要望があります。
- ・ 幸水から幸水への改植では顕著な「いや地現象」があり、改植を進める上で障害となっているので、研究との共同による現地試験を実施してほしいという声もあります。
- ・ 本県ナシ園は、水田転換による地下水位の高いナシ園が多いため、弱樹勢による密植栽培が定着しており、また、台風害があることから樹体ジョイント技術には適していないという意見があります。

高度技術支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel：088-674-1922